

2024/03/10生きものを知ろう！連携協定成果報告会2024

岡山市立蛍明小学校
豊かな自然を活かした体験活動
～総合学習・地域学校協働活動～

岡山市立蛍明小学校地域学校協働活動推進員/みた農園

三田善雄





自己紹介

1974年(s49)生まれ

旧大井小学校（現：蛍明小学校）

足守中学校 大安寺高校 大学進学上京・就職

2010/12/25 帰郷（2011/4/1蛍明小学校・誕生）

2013/4/1 就農「みた農園」水稲・原木椎茸栽培

2014～蛍明小学校5年生総合的な学習の時間「すごいぞ！米パワー」に田んぼの提供

2021/7～同小地域学校協働活動推進員として活動開始

(岡山市北区大井地区)





天日干し米(0.1ha)

品種:朝日米(ポット苗):大正12年岡山で品種改良

ポイント: **みえる範囲の里山から集めた資材**(畦草、ワラ、米ぬか、落葉など)のみで、お米を作ってます。

殺菌・殺虫・除草剤不使用。

※百楽塾:景山詳弘先生(岡山大学名誉教授)考案農法



合鴨(アヒル)農法米(0.6ha)

ポイント: **畜産と稲作を同時**に行ないます。

殺菌・殺虫・除草剤不使用

品種:ヒノヒカリ(ポット苗)

元肥料:大豆粕(搾油済)+乾燥鶏糞(地元鶏卵農家)

追肥:アヒルの糞尿(アヒルの餌:小米)



殺菌殺虫剤不使用米(3.3ha)

ポイント: **初期除草剤1回**のみ使用、殺菌・殺虫剤不使用
苗(床土:粃殻薫炭利用)、品種:きぬむすめ(箱苗)

① 1 ha:大豆粕(搾油済)+乾燥鶏糞(地元鶏卵農家)

② 2.3ha:硫黄コート化成肥料



原木椎茸栽培

3,500本(アベマキ,ホウソウマキ,コナラ)

品種:115(低温/菌興椎茸協同組合)

※衰退産業(JA岡山足守椎部会100軒→10軒以下)

里山循環の経験。木の伐採技術の習得。



生シイタケ

※鮮度を保つ工夫

・傘が開ききる前、雨の前に収穫



乾燥椎茸(スライス/天日干し)



4m材→チェーンソー使いたい方

※椎茸栽培がすたれ30年以上が経過、幹が椎茸原木には太すぎるので、幹の部分の活用が重要



36cm材→薪割りしたい方



薪(36cm)→薪ストーブ用

肉の自給



獣害対策(イノシシ)

※駆除班として(4月～10月にも猟)

筍が終わる7月中旬～稲の転流時期である8～9月の捕獲が多い

・くくり罠: 13頭

・箱罠: 2頭

※捕獲数R4年度

※半数: 解体・自家消費

※半数: 近隣の食肉加工センター



合鴨(アヒル)50羽(ヒナ購入)

水稻: 合鴨農法に活用

※半数: 解体・自家消費



蛍明小学校・総合学習



県内農業高校生

食農学習



田んぼde哲学(松畑熙一先生/岡山大学名誉教授)
※米づくり体験+哲学カフェ
(哲学:レヴィ=ストロース「野生の思考」など)

蛭明小学校5年生 総合的な学習の時間 「すごいぞ！米パワー」 (R26/2014～圃場の提供)

実施時期	内容
5/15	粃まき体験
6/19	田植え体験
7/14	水田の生きもの調査(R4/2022～)
9/11	成長観察
10/16	稲刈り
11/14	脱穀
12/11	注連飾りづくり 食品ロス・フードバンク学習&収穫米の寄贈(R3/2021～)準備



地図出典：岡山市電子町内会HPより
「岡山市北区」



平成23年4月1日

岡山市立蛭明小学校 誕生



校名について

「蛍」

美しく豊かな自然を象徴



「明」

小学校の発展
子どもたちの希望の未来
への思い



令和5年度の学校のデータ

○全児童数 98名

○各学年の児童数

	新1年	新2年	新3年	新4年	新5年	新6年
男子	5	9	12	13	6	10
女子	4	2	8	10	11	8
合計	9	11	20	23	17	18

○通常学級 6

特別支援学級 (知的) 1

(自閉症・情緒) 1

計8学級

令和5年度
岡山市立蛍明小学校 教育基本計画

岡山っ子育成条例
市民協働による自立に向かって成長する子ども
豊かな人間性 自分を高める 共に生きる

岡山市教育大綱【第2期】
自らの個性を磨き、
選択と挑戦を繰り返す子ども
【活用力】【表現力】【向上心】【社会性】【人権尊重の精神】

足守中学校区教育目標 郷土を愛し 心豊かで たくましく生きる 人間の育成

学校教育目標
自ら考え 豊かにかかわり合う
未来へつながる子どもの育成

すすんで学ぶ子
★めざす子ども像★
思いやりあふれる子
元気にやりぬく子

すすんで学ぶ子

- わかる授業作り
・「学び合い」による「思考力・判断力・表現力」の育成
・振り返りの充実
・ICT機器の活用力の育成
・ESDの視点に立った取組
- 基礎基本の定着
・新学習の充実
・授業規律の徹底
・家庭学習力の育成
・読書活動の推進
・業務授業の推進
【表現力】【活用力】【向上心】
【人権尊重の精神】

指導の重点

思いやりあふれる子

- 思いやりの心の育成
・人権意識の向上
・道徳教育の推進
・特別支援教育の推進
・他者へ広げる
- 認め合う仲間づくり
・安心できる学級づくり
・異学年活動の推進
・自己肯定感、自己有用感の向上
・自尊感情の育成
【表現力】【社会性】
【人権尊重の精神】

元気にやりぬく子

- 元気な体づくり
・基本的生活習慣の確立
・メディアコントロール
・体力の向上
・粘り強く取り組む姿勢
・食育の推進
- 元気な心づくり
・あいさつ、返事、正しい言葉遣いの徹底
・規範意識の向上
・あきらめずに取り組む姿勢
【向上心】【社会性】
【人権尊重の精神】

未来へつながる子ども

郷土を愛し誇りに思う心の育成

学びの連続性を大切にした小中連携活動 ESD 豊かな自然と地域の特色を活かした体験活動

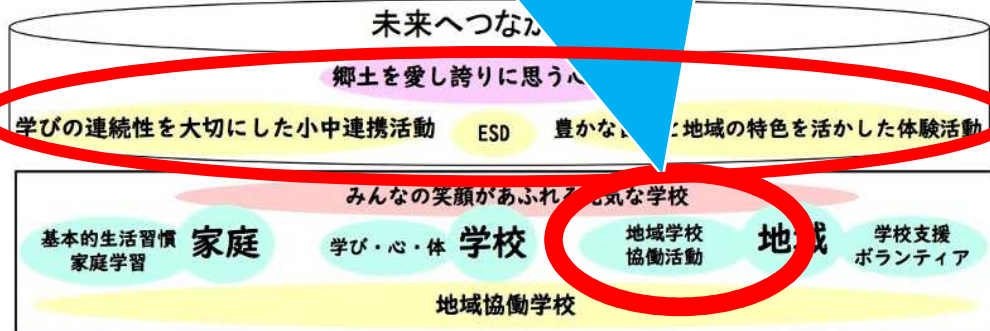
みんなの笑顔があふれる元気な学校

基本的生活習慣 家庭 学び・心・体 学校 地域学校 地域 学校支援 ボランティア
地域協働学校

総合学習サポート
(学校支援ボランティア
コーディネート)

地域学校協働活動

地域と学校が目的を共有し、連携・協働して
子どもたちの成長を支えていく



豊かな自然

「ホテルの里事業」への認定(1992～)



出典：おかやまSDGs・ESDなび内
「身近な生きものの里・ホテルの里」ページより

3年生1学期：ホタルの学習

講師：下高田わらべ会

大井しいの木いきいき会（御船、横田、三宅先生など）



出典：岡山市HPより

ホタル新聞

ホタルの生活


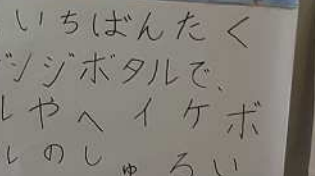
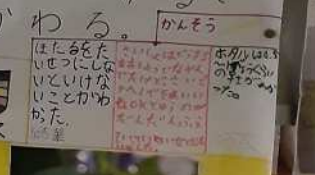

小出 奈奈香
山崎 大佳

ほたるのとぶはやさは、
0.5〜1センチくらいのはやさです。
ほたるもひかるたまごもひかるたまごの大きさは、
0.5mmです。
木でたまごをうみます。
きれいな川にいます。
カワニナを食べます。

4ワシゅるいいいます。いちばんたくさんいるのは、ゲンジボタルで、ほかに、ヒメボタルやヘイケボタルがいます。ホタルのしゅるいによっでおおきさがかわる。

名前★新聞

ほたるのしゅるい





ゲンジボタルとヘイケボタル

6月9日
木曜日

ゲンジボタル	ヘイケボタル
メ	メ
タ	タ
ニ	ニ
ボ	ボ
タ	タ
ル	ル
ヘ	ヘ
イ	イ
ケ	ケ
ボ	ボ
タル	タル

ゲンジボタルのしゅるい

ヘイケボタルのしゅるい

3年生2学期： 足守川の生き物調査（2016～）

講師：アスエコ(岡山県環境保全事業団・環境学習センター)から派遣
松本英子先生



蛍明小学校 水辺教室		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
1	ヌマムツ	○	○					○	
2	カワムツ			○		○			
3	オイカワ	○	○	○	○	○		○	○
4	ムギツク	○	○	○		○		○	○
5	アブラボテ								
6	イトモロコ								○
7	コウライモロコ						○		
8	フナ類	○	○				○		
9	コウライニゴイ				○	○		○	
10	カマツカ				○	○			
11	ヨシノボリ類	○	○	○	○	○	○	○	○
12	ドンコ	○	○		○	○	○		
13	ミナミメダカ	○		○	○		○		
14	ドジョウ	○							
15	スジシマドジョウ類	○							
16	ナマズ			○		○			
17	ギギ						○		
18	アカザ				○		○	○	
19	オオクチバス		○						
20	ブルーギル	○							
21	カワリマエビ類	○	○	○	○	○	○	○	○
22	スジエビ類			○	○	○	○	○	○
23	アメリカザリガニ	○	○	○	○		○	○	
24	ウシガエル	○		○		○			
25	ヤゴ	○	○	○	○	○	○	○	○
26	ミスカマキリ		○		○	○	○	○	○
27	タイコウチ								○
28	コオイムシ		○	○		○			
29	ゲンゴロウ類		○				○		
30	アメンボ類				○		○		
31	カワニナ類		○	○					
32	シジミ類	○	○	○				○	○
33	イシガイ	○							
34	スクミリンゴガイ	○							
35	コカナダモ	○							

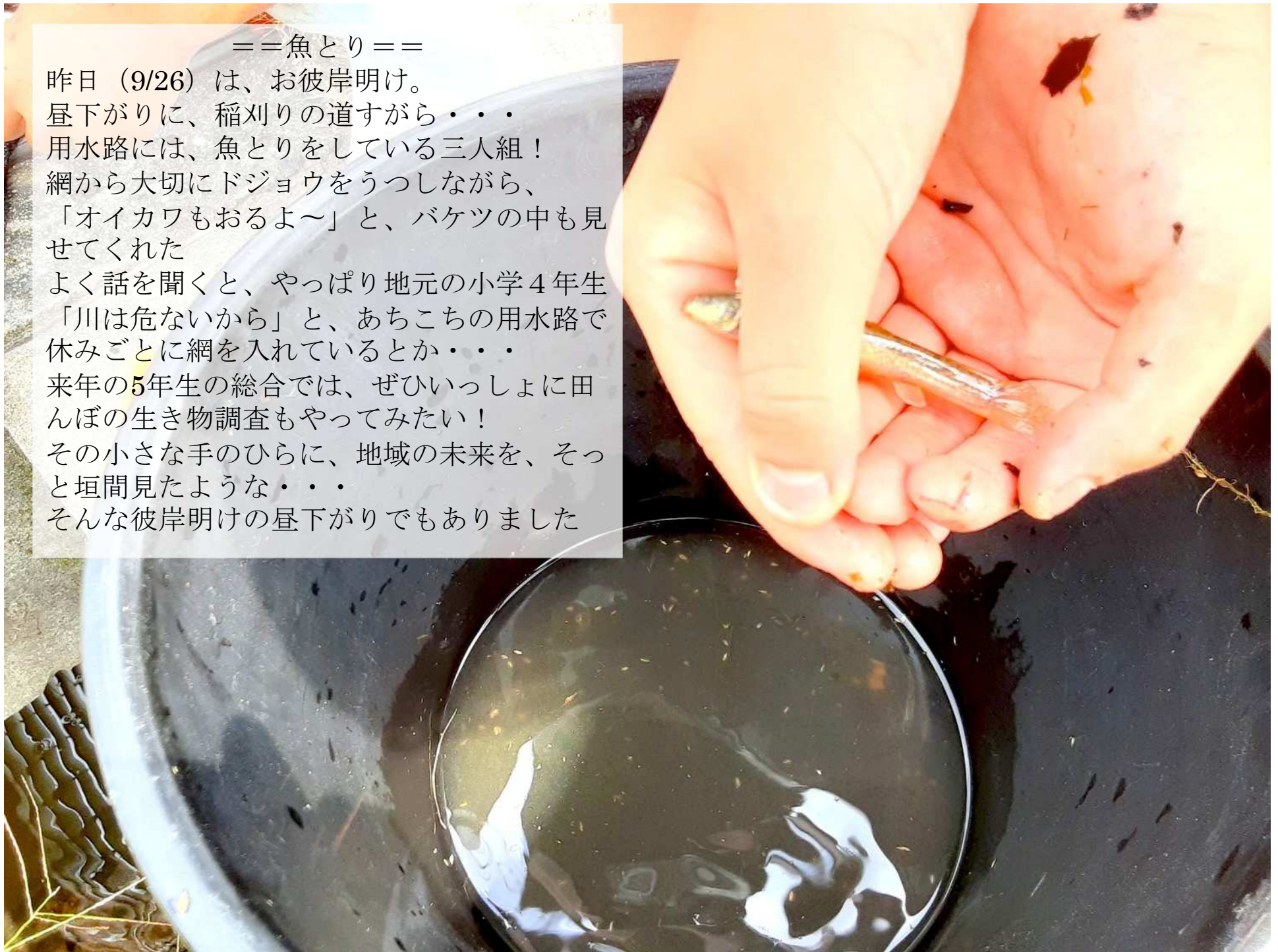
作成：松本英子



教室・廊下
の水槽で
飼育・観察

==魚とり==

昨日（9/26）は、お彼岸明け。
昼下がりに、稲刈りの道すがら・・・
用水路には、魚とりをしている三人組！
網から大切にドジョウをうつしながら、
「オイカワもおるよ～」と、バケツの中も見
せてくれた
よく話を聞くと、やっぱり地元の小学4年生
「川は危ないから」と、あちこちの用水路で
休みごとに網を入れているとか・・・
来年の5年生の総合では、ぜひいっしょに田
んぼの生き物調査もやってみたい！
その小さな手のひらに、地域の未来を、そっ
と垣間見たような・・・
そんな彼岸明けの昼下がりでもありました

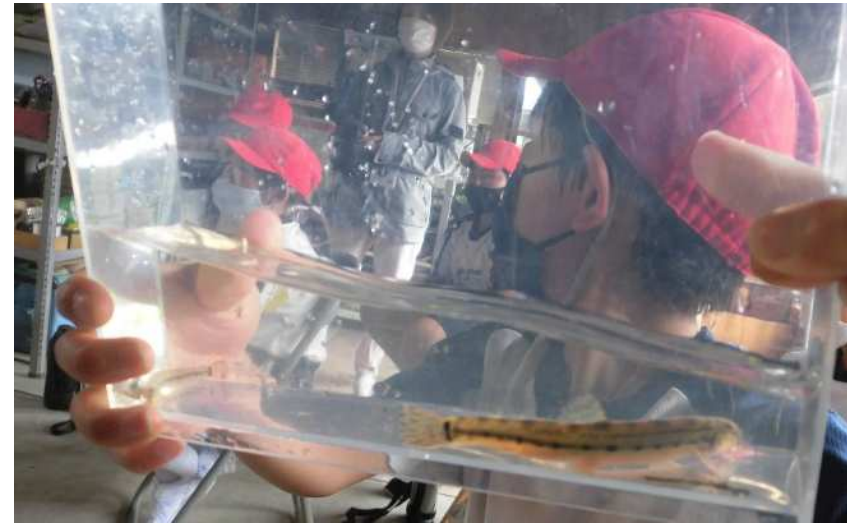
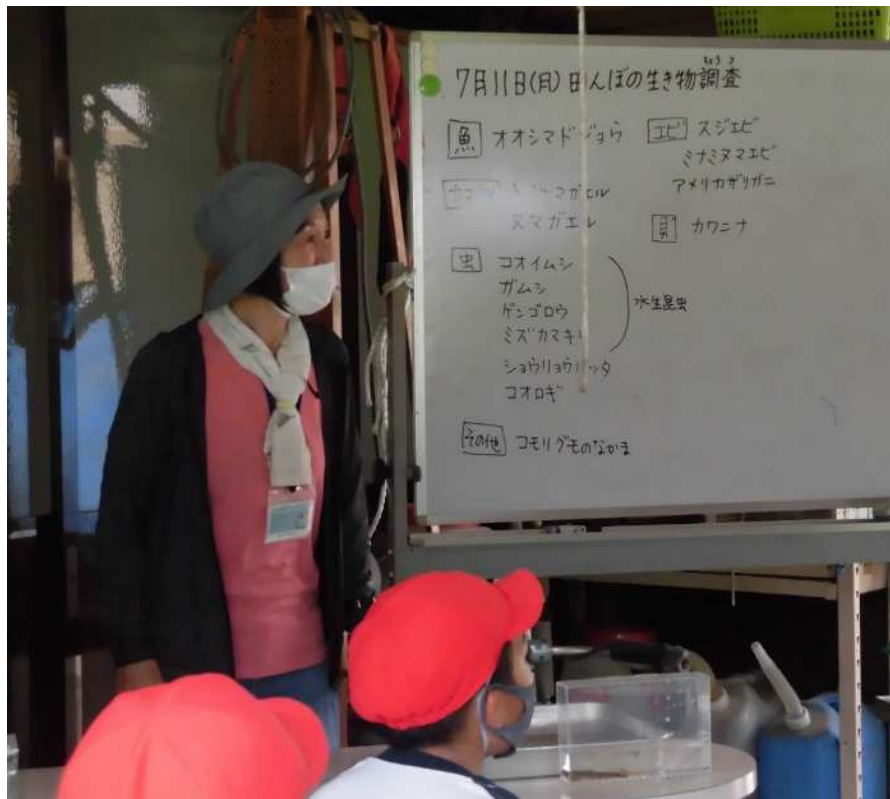


5年生1学期： 田んぼの生き物調査（2022～）

アスエコから派遣

（岡山県環境保全事業団・環境学習センター）

松本英子先生





蛭の里

みた農園

水田：生きもの調査
7/14蛭明小5年生調査実施

蛭明小
文

メロン橋

足守川：生きもの調査
9/4蛭明小3年生調査実施



9/15大井神社生物調査

みた農園

9/15水田：生物調査
(蛍明小5年生物調査実施)

地域生物多様性・専門家調査



岡山県環境保全事業団の先生方

9/22足守川：生物調査
(蛍明小3年生物調査実施)

メロン橋

学校運営協議会研修の企画

協議会委員（現在11名）： 連合町内会長、婦人会長、PTA、
学校長、教頭、学校支援ボランティア、推進員など

R5年度: 「大人も学ぶ！」学運協委員対象研修会② 介護予防・フレイル講座(4年生・総合) 老化・対策への理解を深める



児童の祖父母(6名)・学運協委員(2名)も
ともに学ぶ！(多世代交流)

日時：2023年11月9日(水)10:50～11:35

場所：蛸明小学校 交流ホール

講師：岡山市ふれあい

介護予防センター北事務所
難波尚佳様、濱内亜希子様

内容：

- 前回の復習（年をかさねていくと・・・）
- ふれあい介護センターについて
※専門職のご紹介(キャリア教育)
- フレイル概要や予防の3本柱
- 機能測定の実施（口腔機能）
※「パ」「カ」「タ」測定
- 予防アクティビティの紹介（口腔機能）

R4年度:「大人も学ぶ！」学運協委対象研修会① 「蛍明小学校区 戦争遺構めぐり」

戦争を物語るもの…

地域に残る第二次世界大戦の遺物



※柏野忍 (郷土史愛好家) 作成地図資料を三田善雄が加工

【日時】

2022年11月19日 (土) 10:00-12:00

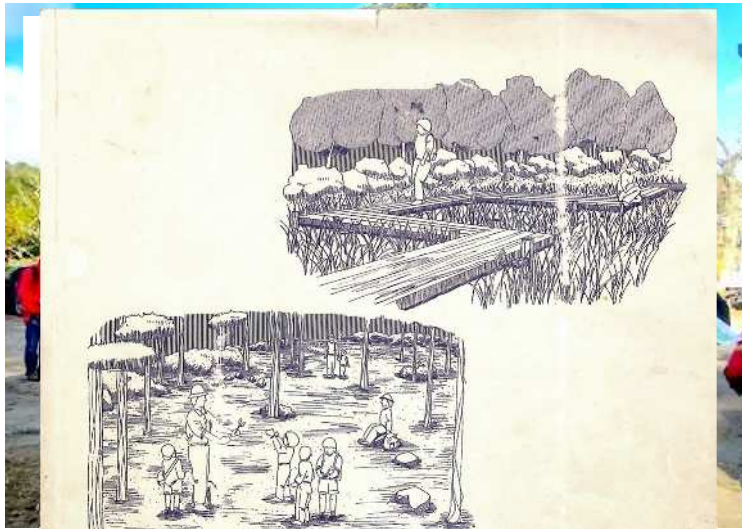
【解説】

柏野忍さん/郷土史愛好家
(大井地区在住)

【参加者】 16名

蛍明小学校運営協議会委員：6名
(含：同小学校長・教頭：2名)、
6年担任1名、前校長：1名、
地域学校協働活動推進員：2名
足守公民館だより編集員：4名
公民館職員：1名 (動画撮影)

R3年度:「大人も学ぶ！」学運協委員対象研修会 蛭明小学校10周年事業
粟井・杣のみち「自然散策交流会」～秋編
「地域自然環境・生物多様性保全活動」ネットワーク会議



粟井・杣のみち「自然観察交流会」～秋編～

- ・日時：2021年11月27日(土)9:30—14:30 (10:00~14:00)
- ・場所：粟井・杣のみち (岡山市北区粟井萱ヶ池地区)
- ・講師：波田善夫先生(植物生態学/岡山理科大学名誉教授)
- ・案内：岡嶋邦義さん(杣のみちオーナー)
柏野忍さん(郷土史愛好家)
- ・参加者：14名



真砂土・石英



～郷の池ルート

常緑樹・広葉樹の違い



重ね岩

磐座信仰

～命の詩をうたう～
栗井・杣（そま）の
フィールドワーク
（秋編）10:00～14:00

青字・・・波田善夫先生
（岡山理科大学名誉教授）
緑字・・・柏野忍さん（郷土史愛好家）
赤字・・・岡嶋村長（杣のみち）

真砂土・石

常

巫信仰

のろし跡

ほうさ
本場

少年生態系

炭がま跡

昼食

笹茶

25土砂災害と砂防堰堤

郷の池

7/28専門家調査(岡山県環境保全事業団)

(岡嶋邸) 1
= 12:40④お
= ⑥ = 14:00 (岡嶋邸)

③ =
3:45 =



蛭明小学校区「自然環境・生物多様性保全活動」ネットワーク会議

・日時：2021年11月27日（土）15:00—16:30

・場所：蛭明小学校 会議室

・参加者：16名

【基調講演】講師：波田善夫先生

「今なぜ？どんな？環境保全活動・学習を期待するのか？

～地域・学校・公民館の連携への示唆～」

【活動報告】

小学校総合学習：蛭明小学校3～6年（信江校長）

地域ホタル保護活動：

・高田地区（下高田わらべ会：神原さん）

・福谷地区（リフレッシュ福谷：田口琢磨さん）

・大井地区（大井しいの木いきいき会：御船宗一郎さん）

蛭明小学校区の環境保全活動履歴から：岡山の自然を守る会（友延栄一さん）

公民館活動（バードウォッチング、水辺教室）：足守公民館（若林美緒さん）

小学校・公民館の環境保活動の講師経験から：岡山淡水魚研究会（松本英子さん）

【意見交換】参加者全員

【総括】波田先生

【波田先生基調講演より】

○複雑系の問題を解きつつ前進する能力を育成することが教育の本質であり、それを実現することの大きな手段が環境教育である。

【意見交換より】

○ホタルのモニタメント3匹つくる（活動初期：10年くらい前）

（リサイクル啓発かねて、空き缶やペットボトルを使用）

○川の清掃、川の草焼き、草刈りなど、環境整備に地域全体の協力が必要

○護岸工事などの環境変化「環境保全課？防災対策か？」

○それぞれの地域にいいものがある、それぞれで大切にしていって活動があって、それが続いている。そういう中に学習がある。

○生活か？環境か？どちらかではなく、その生活も守りつつ、生き物の保全も守れるような知恵を出せる人になれるようにと思って関わらせてもらっています。

意義

(岡山市事業・専門家調査との連携)

- 専門性
- 先進性

(30by30、生態系サービス etc)

- 信頼性(ブランド力)

ご清聴ありがとうございました

